

わは歯ニュース 2 月号



陽があたたかい日も少しずつ増えてきましたね。育ててる植物も陽が当たると可愛いです！まだまだ寒い日も続きますので身体をしっかりとためながら過ごしていきたいです。



2月に入ると、そろそろあの季節…

鼻がムズムズして、鼻水やくしゃみが止まらない。目などがかゆくなる。

花粉症に悩まされている方には、つらい時期が近づいてきます。

わたしもスギ花粉のアレルギーです。

飛散開始が早い東京など関東や東海、九州では、

2月下旬にはスギ花粉の本格的な飛散(ピーク)が始まる予想です。

スギ花粉の後はヒノキ花粉が飛び始め、関東では4月下旬まで

春の花粉のピークは続くとしています。



花粉症にはいろいろな対策がありますが、近年広まりつつあるのが初期療法…薬を使った予防治療です。病気の治療は症状が出てからおこなうのが原則ですが、花粉症の場合には症状が出る前から治療が認められています。花粉が飛ぶ少し前(2週間程度前)から薬による治療をはじめます。症状が出てからでは新型コロナに誤解される恐れもあります。新型コロナの流行次第では受診自体が難しくなるかも…。毎年花粉症に悩まされているのであれば、「いつもより早めの受診」が必要です。

日常のケアを忘れずに

花粉症を軽減する日常のケアも効果的です。

- 外出時にはマスクや帽子を着用、コートなどは花粉の付きにくいポリエステルやナイロン素材にする
- 帰宅時にはコートなどにブラシをかけてから家に入る、目や鼻、ノドを洗う
- 掃除をこまめにしてほこりをためない。花粉はほこりと一緒に室内にたまりやすい！

早いうちから適切な対策をして
花粉シーズンを乗り越えましょう！

担当：服部

はま歯科医院

〒501-6224 羽島市正木町大浦 79-2

☎ 053-391-4662

web <https://ham-dent.com/>

診療時間 平日 9:30~13:00/2:30~18:00

土曜 9:30~13:00/2:30~17:30

休診日 木・日・祝祭日

「抜いたほうがいいですよ」とすすめられたけれど…、
まだ抜いていない親知らずが、お口の中にありませんか？

問題のある親知らずは、**トラブルの温床**です。ただ炎症を起こすだけでなく、**咀嚼のかなめの第二大臼歯を失う原因**にもなってしまいます。

なぜ**放**っておくとよくないの？

骨のなかで横向きに埋まっている親知らず、あるいは傾斜して頭を出している親知らずは、生えようとして隣の奥歯を押し傷めたり、隣の歯との隙間にプラークをため込んでむし歯や歯周病を起こす**トラブルメーカー**。疲れた時にうずく…というのは慢性的な炎症があるサイン！

歯ぐきの炎症

プラークや食べかすが溜まり歯ぐきに炎症が。放置すると頬や首の腫れ、発熱などを起こし蜂窩織炎になってしまうことも。

歯周病（歯周炎）

溜まったプラークが炎症を起こし、歯を支える骨が溶けて失われます。知らないうちに進行し治療が手遅れになると、親知らずと一緒に第二大臼歯が抜歯になってしまうことも！

かみ合わせが悪化

親知らずに押されて第二大臼歯が倒れ、上の歯とうまくかみ合わなくなって食事など日常生活に支障が出てしまいます。

むし歯

隣の歯とのあいだの歯ブラシでは掃除できないところにプラークが溜まりやすいため、親知らずだけでなく、咀嚼のかなめである第二大臼歯までむし歯に！



親知らずのトラブルは、忙しい時、疲れた時に起きやすいです。時間に余裕ができた時、体力のあるときこそ親知らずを抜くチャンス！将来、「ここぞ」というときに、親知らずで困らないように歯科でぜひご相談ください。